

国内外来種  
国外外来種



## 木曽川の魚

本川

ワナ

### イタセンバラを育てる

現在、イタセンバラの生息域外観念調査を実施しています。今年度の調査には岐阜県水産研究所をはじめ4つの施設において300匹をこえる赤ちゃんが生まれ、イタセンバラを飼育繁殖させるには、秋から春にかけて育ててくれるイシガイなどの二枚貝も一緒に育てることが重要となってきます。

私たちの暮らす木曽川中流域と大坂平野（河川）、高山平野（河川）にしがやまは生息しています。



### 生息地



岐阜県 岐阜市 岐阜川 岐阜川中流域 岐阜川中流域 岐阜川中流域

### イタセンバラへ悪影響を与える可能性のある外来種

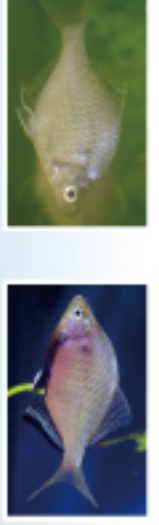


タイワンバラタナゴ オオクチバエ ヌートリア

### イタセンバラを増やす活動

イタセンバラはタナゴの仲間、大坂平野（河川）と高山平野（水見市）、そして私たちが暮らす木曽川中流域にしがやまが生息しています。絶滅危惧種IA類、国の天然記念物に指定された淡水魚です。この魚が定川のように絶滅してしまわないように、環境省中部地方環境事務所が木曽川にどのくらいイタセンバラがいるのかを調べたり、保護をして増やす仕事をしています。現在、世界淡水魚園水族館アクア・トギゾウ、名古屋山崎動物園、静岡市清水区清水水族館、岐阜県水産研究所の4つの施設で大切に育てられています。

産卵地の呼びたメス 産卵色の鮮やかなオス



### イタセンバラを守る活動

イタセンバラはどんなところにすんでいるの？  
イタセンバラは、全長229kmの木曽川のなかでも、中津部（愛知県一宮市・岐阜県羽島市西辺）に特徴的にみられる「ワンド」にすんでいます。ワンドとは、本流のまわりの入り江状（または水たまり状）になっているところで、大雨が降って川が氾らん（洪水で川の水があふれること）したときに、水が流れる場所（冠水箇所）にできます。



### イタセンバラはなぜ減ってしまったの？

イタセンバラの絶滅を防ぐためには、イタセンバラや二枚貝のすむワンドを守る必要があります。そのためには、いま残っているよい環境を守ることがもっとも大切です。また、環境が悪くなってしまうワンドを、少しでもよくすることも効果的です。



### ワンドの環境を整える

かつては砂浜のような環境が広がっていた田舎ですが、近年では土砂やヘドロが溜まり、草木が繁殖し、日陰が濃くなっています。イタセンバラや二枚貝がすむには、①こまめに草刈り、②土を踏み固めたり、③木を植栽して日陰がなくなるようにしたり、④ワンドが水たまりにならないように、⑤外排水を調整するといった対策を行っています。

### 産卵母貝となる二枚貝を増やす

木曽川中流域のワンドでは、環境を整える工事を平成21年度より実施しています。この結果により、産卵、二枚貝の増加傾向が確認されています。



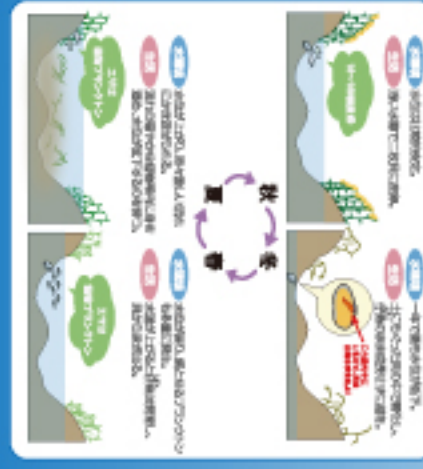
### 産卵を未然に防ぐ

イタセンバラなど、木曽川にすむ生きものも知って、私たち人と生きもの、ともに暮らしをいける方法を考えなければなりません。また、イタセンバラを知ってほしい、産卵を未然に防ぐことを目的として、市民のみなさんと行政が合同でパトロールする取り組みも行われています。



### イタセンバラの一生

世界淡水魚園水族館アクア・トギゾウでイタセンバラを育てている様子を、紹介します。  
(写真提供：世界淡水魚園水族館アクア・トギゾウ)



### イタセンバラの1年

【和名】栴藍魚  
【学名】*Acheilognathus longipinnis*  
【分類】コイ目コイ科タナゴ属

成長となったイタセンバラ。産卵後に死んでしまう1年魚ですが、水族館などでは2年生きていたものもいます。

イタセンバラはこわがりなので、群れになってかたまって泳ぎます。

夏になると、イタセンバラらしくなった幼魚が泳ぎだします。

5月後半、1.5cmほどになったイタセンバラの稚魚が、ゆうゆうと泳ぎ始めたところです。



秋、イタセンバラのオスはきれいな色になってメスをさがします。これを産卵色といいます。



メスは、産卵管をのぼして二枚貝（イシガイやドブガイ）の中に卵を産みつけます。イシガイが見えるかな。



二枚貝が死んでしまうと、イタセンバラの赤ちゃんも死んでしまいます。



死んでしまった貝から赤ちゃんを助け出し、インキュベーターシステムで人工飼育します。



インキュベーターで飼育している様子。



春、イタセンバラの赤ちゃんが泳ぎだしました。